

卒業おめでとうございます



PTA会長  
西垣 努

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう  
ございます。そして、保護者の皆  
さま、お子様のご卒業誠におめでと  
うございます。また、高校3年間の  
PTAの活動に対し、ご理解とご協  
力を頂きありがとうございます。  
本日、お子様は、思い出多い学び舎  
を巣立ち、社会に出て働く者、自分  
の将来にむけ学びを極める者とし、そ  
れぞれの道を自立心を持って歩き始  
めます。親としてこんなに喜ばしい  
日はないと思います。

たくさんあると思いますが、その分  
良いこともたくさんあります。人生  
の先輩からのアドバイスです。「人  
生には小さくても良いので、目標を  
持つてください。目標を持つことで  
道に迷わなくなります。」皆さん一  
人ひとりが人生という物語の主人公  
であり作者でもあります。どのよう  
な人生を描くかは皆さんしだいです。  
夢や目標は人生の道しるべとなると  
言います。努力を惜しまず頑張つて  
ください。

最後にになりましたが、本日まで深  
い愛情を持って、子供たち一人ひと  
りに、ご指導くださいました廣川校  
長先生をはじめ、諸先生方に敬意を  
表しますと共に、心より感謝申し上げ  
ます。これからは人生の先輩とし  
て子供達を見守ってあげてください  
ますようよろしくお願い申し上げます。  
そして、卒業生の皆さんの輝け  
る未来と、保護者の皆さまのご多幸  
を祈念いたしまして、お祝いの言葉  
といたします。

卒業に寄せて



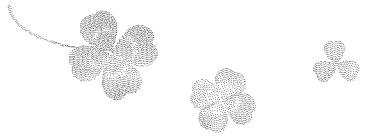
校長  
廣川 雅之

三年間の努力を实らせ、本日、卒  
業の日を迎えられた七十七期の皆さ  
ん、卒業おめでとうございます。  
また、この間、本校の教育活動に  
ご理解とご協力を賜りました西垣P  
TA会長をはじめ保護者の皆様、温  
かく見守ってくださいました同窓会  
並びに地域の皆様に心から感謝とお  
礼を申し上げます。

三年生の皆さんは、二〇二三年四  
月、真新しい制服に袖をおし迎え  
た入学式から早いもので三年が経過  
しました。皆さんが入学した年の五  
月には、皆さんの学校生活に支障を  
与えていた新型コロナ緊急事態宣言  
の終了が発表されました。今は、平  
穏な生活を送れています。思い返し  
てみると、学校行事や部活動の制  
限、学校給食の黙食など、制限され

たおり、高校入学時より、日常を取  
り戻すとともに、新しい在り方を求  
められるようになりました。成人  
年齢が十八歳になったことから、在  
学中に金融教育を学ぶなど、時代は  
変化しています。二〇二三年にはA  
IチャットサービスのChatGPTの  
利用者も一億人を超え、現在でも多  
くの方が、日常的に利用しているサ  
ービスとなっています。これから皆  
さんが生きるとは、先行きの見え  
ない時代です。今までの常識が常識  
ではなくなる時代です。社会は皆さ  
んの活躍を期待しています。N高で  
身に付けた知識や技能を礎とし、頑  
張ってほしいと思います。

改めて、三年生の保護者の皆様、  
お子様の晴れの門出にあたり、これ  
までのご労苦に敬意と祝意を表しま  
す。お子様の教育に携わる機会をい  
ただいた私どもも職員にとりまして  
もこの上ない喜びと感じております。  
本校は今後も地域の学校として、  
子どもたちの学校生活やPTA活動  
を通じて、地域・保護者と教職員が  
連携を図り、生徒が更なる成長がで  
きるよう取り組んでまいりますので  
引き続き、本校の教育活動にご理解  
とご支援を賜りますようお願い申し  
上げます。



# 卒業おめでとう

—担任よりのメッセージ—

中標津高校第七期生のみなさん、卒業おめでとうございます。今日の良き日を迎えられたことを、保護者の皆様とともに、心より祝福したいと思います。



担任 秀水澤

一つの時代も「激動の時代」と言われますが、現在は本当に世の中の移り変わりが激しくなっています。教室の授業風景一つとっても、一人一台の端末やICTの活用など、保護者の皆様の高校時代とはまったく違った光景が繰り広げられています。人間関係もSNSによるつながりが当たり前となり、親や教師の知らないところで拡がる子供たちの交友関係を把握することは容易ではありません。つまり、親や教師は今、自分の経験をもとにした子育てや教育が通用しない時代を生きているということになります。そんな試行錯誤の中で、われわれ教師も悩み、葛藤することが多々ありましたが、保護者の皆様におかれましても、これまでさまざまなご苦労があったこととお察しいたします。ただ、そんな中でも、これまでわれわれ教師の活動に深いご理解とご協力を賜りましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

そして、この先も世の中がどのように変わっていくのか、なかなか見通せない時代だからこそ、地域の方々や教師がきちんと話し合い、一緒に子どもたちを育てていくことが重要となります。だからどうか、これからも何卒よろしくお願いたしました。

最後に、卒業式を迎えはしましたが、受験生の闘いはまだ続きます。三年A組、および第七七期の学年を本当に解散するのは三月末であり、それまでは精一杯の手助けをしますので、受験生はもちろん、保護者の皆様も、何か悩み事やご相談があれば、遠慮なく学校までご一報ください。一緒に、真剣に考えることをここにお約束いたします。

中標津高校第77期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

そして、これまで温かくお子様を支え、今日の日を迎えられました保護者の皆様におかれましても、心よりお祝い申し上げます。三年間にわたり、本校の教育活動に深いご理解と多大なるご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。私自身、担任として初めて受け持たせていただいた学年であり、至らぬ点多く、ご心配やご迷惑をおかけした場面もあったこと存じます。そのような中にあっても、生徒一人ひとりが自ら考え、悩み、仲間と向き合いながら学校生活に真摯に取り組み、日々成長していく姿を見せてくれました。その姿は、私にとって何よりの励みであり、忘れることのできな貴重な経験となりました。また、常に温かく見守り、支えてくださった保護者の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。この三年間、生徒たちは学習をはじめ、学校行事や部活動など、さまざまな場面で多くの経験を積み重ねてきました。思い通りにいかないことや困難に直面し、立ち止まることもあったかもしれませんが、それでも仲間と支え合い、努力を重ねてきた日々は、これから先の人生を歩むうえで、必ず大きな力となり、確かな土台となることでしょう。それぞれが選び取った新たな道において、自らの可能性を信じ、誠実に、そして前向きに歩んでいくことを願っております。中標津高校で培った学びと出会いを胸に、卒業生の皆さんの前途が、実り多く、希望に満ちたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。



担任 西 楓生 高

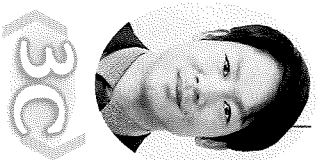


中標津高校を卒業する第77期生の皆さん、卒業おめでとうございませう。そして、これまで温かくお子様を支えてこられた保護者の皆様に、心よりお祝いを申し上げます。皆様から賜りました多大なるご支援に、深く感謝いたします。

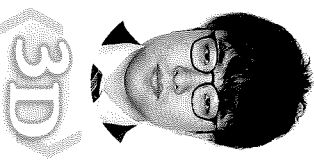
教室や行事のなかで見せてくれた皆さんの様々な姿が、鮮明に思い出されます。時には壁にぶつかって立ち止まることもあったでしょう。しかし、皆さんはそのたびに自身を見つめ直し、勇敢な一歩を踏み出してきました。特に、学校祭などの行事や部活動で仲間と知恵を出し合い、一つの目標に向かっていく姿には、目を見張るほどの頼もしさを感じました。自分自身と向き合い、周囲と手を取り合いながら物事を成し遂げた経験は、これから進む道においても、皆さんを支える確かな力となるはずです。

皆さんはこの学び舎を離れ、それぞれの未来へと歩み出します。新しい生活のなかで、もし迷いや不安を感じることがあれば、ここで共に過ごした友人の顔や、分かち合った時間を思い出してください。共に笑ったり、共に成長した日々は、時が経っても変わることのない心の糧となります。

高校卒業という一つの区切りを迎え、皆さんの眼前には広大な可能性が広がっています。それぞれが有する自分だけの持ち味を大切にしながら、一日一日を丁寧に積み重ねていってください。皆さんの歩む道が、希望に満ちた豊かなものになることを心から願っています。



担任 佐藤 健太



担任 納谷 侅太郎

第77期生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございませう。そして、今日までお子様を支えてこられた保護者の皆様に、心よりお祝いを申し上げます。これまで、本校の教育活動にご理解ご協力をお賜りましたこと、深く御礼を申し上げます。

皆さんが過ごしたこの三年間は、正解のない問いに對し、自ら答えを探し続ける日々であったと思います。教科書通りの答えが通用しない場面において、皆さんが互いの個性を尊重し、時には激しく議論を交わしながらも、新しい価値を創造しようとする姿勢が強く印象に残っています。そのプロセスこそが、これからの予測困難な社会を生き抜くための真の知性です。

明日からは、誰かが用意したレベルではなく、自ら道を選び取る日々が始まります。もし進むべき道を見失いそうになった時は、「自分はどうかしたいか」という心の声を傾けてください。この学び舎で培ったのは、単なる知識ではなく、困難をしながらも乗りに乗る「心の強さ」です。

卒業は別れではなく、新しい世界との出会いです。皆さんが持つ独自の感性を信じ、失敗を恐れずに挑戦し続けてください。第77期生という誇りを胸に、自らの手で輝かしい未来を切り拓いていくことを期待しています。皆さんの前途に幸多からんことを祈念いたします。

中標津高校第77期生の保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。

3年間、本校の教育活動にご理解ご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。近くで見守り支えていただいた中、生徒は大きく成長したと感じています。

第77期総合ビジネス科は総合ビジネス科となつて3回目の卒業生となります。総合ビジネス科の目標の1つとして、資格取得では、商業系学科で表彰される1級3種目以上合格を目指してきました。これは全国の商業系学科生徒の上位およそ20%になります。当然ですが種目が増えると人数は減っていく、1種目増えると約半分のパーセンテージになりますので7種目以上になると約1%となります。今年度卒業生はクラスの約40%である12名が1級3種目以上に合格しました。4種目以上1級を取得した生徒は過去20年間の中標津高校の記録の中で最も多く、本校で初めて1級7種目合格するなど新たな歴史を作りました。1、2種目1級を取得した生徒は5名、1級を取得できなくても何らかの資格を3つ以上取得しており、その中で努力の仕方や我慢強さ、やればできるという自信を身につけてくれたのではないかと思っております。ここでは検定について記載しましたが、部活動で全道大会出場や個人賞受賞、課題研究で新聞に取り上げられる活動など活躍した生徒がたくさんいます。卒業のこの機会にぜひ、ご家庭でお子様の頑張りを褒めてあげてください。

3年間クラスを見てきた中で、多感な時期にコロナ禍で他者との関わりを制限された影響が、コミュニケーション能力に関してはまだまだ学ばなければいけないことかたくさんあるかもしれません。しかし、それはまだまだ伸びしろがあるということだと思います。

卒業生のみならずそれぞれの進学先、就職先でさらに成長し、健康で充実した生活を送り、社会を支える人材として活躍することを期待しております。本日はご卒業おめでとうございます。



担任 担田 謙大

# 「総合ビジネス科の取り組みについて」

商業科主任 伊藤 陽一

●総合ビジネス科の第三期生が卒業を迎えます。

令和三年度より、「総合ビジネス科」がスタートし、今年度で第三期生が卒業を迎えます。これまでの資格取得だけでなく探究活動にも力をいれた「資格と探究」の二万流のカリキュラムになっております。

●一学年は基礎基本の学習と各検定への取り組みを通し、「学ぶ技術と姿勢」を身に付けます。

一学年は、簿記や情報処理のほかビジネス基礎やマーケティングの授業を通して、商業の基礎を資格取得を通して学んでいきます。検定試験では簿記・ビジネス計算・情報処理・ビジネス文書・商業経済など各検定の基礎である三級を中心に学びます。また希望者は講習も行い、二級や一級にもチャレンジできます。十二月の課題研究発表会では、各企業のポスターを作成しポスターセッションを行いました。

●一学年は、選択科目で希望する分野を伸ばし、探究授業や販売会、就業体験、商品開発などを通し、「向上心や人どのかわり」を学びます。

二学年は、「観光ビジネス」の科目の中で、エントリシートによる「観光甲子園」への参加、七月には毎年恒例の知床ウトロ地区へ、バスで移動し散策を行う「知床ナイトドライブ」十一月の空港での地元特産品の「販売実習」を行います。普段の「教室や教科書では学べない活動」に力を入れております。このような活動を通して、「ビジネス」を実践的に学びます。そのほか、二学年では選択科目で、簿記・情報処理・ビジネス文書・ビジネス計算などの、一級や二級検定に向けた科目を、進路に合わせた形で選んでいきます。今年度は、既に二年生の時点で、三種目一級以上取得者がおり

ます。また、十一月のインターシニアでは総合ビジネス科の二年生全員が一日間の日程で町内の各事業所で職場体験を行っております。そして、十二月の課題研究発表会では、商品開発を選抜した生徒による販売会を実施しました。地元企業と連携した生徒が考案した「ドーナツ」や「スコーン」など十種類を販売し大変好評でした。

●三年生は、課題研究発表会を通して学が、地域の「探究活動」と、各種の検定一級を三種目以上取得する三種目一級」を目標にしています。

探究活動の成果として、十二月に「課題研究発表会」を行います。町内の事業所の方々のご協力のおかげと生徒の頑張りにより、大変すばらしい発表会となりました。特に、町の歴史的建造物「伝成館」で実施した「なみき道カフェ」では多くの来場者を集め、大変好評で来場してくださった方からは「来年も是非オープンしてください」と嬉しいお言葉をいただきました。この探究を行った班は「ビジネスを学ぶ」ということは、ただお金もうけのためだけでなく、社会のため、人のためになることを学びました」との発表がありました。また、商品開発班が企業と連携し考案した、五種の「ペーグル」や、二種類の「パン」など大変活気のある行事となりました。

●全商一級三種目以上取得者十二名合格！

全商検定一級を三種目以上取得した者が、昨年度の九名を上回り、「十二名」取得することができました。内訳は三種目が三名、四種目が四名、五種目が三名、六種目が一名、七種目が一名です。今年は、商業科・事務情報科時代にも達成できなかった七種目取得者が本校から誕生しました。全道でも四十名程度しか取得していません。これは大変素晴らしい結果です。

本校総合ビジネス科はこれからも「資格取得と探究活動」の二つの柱で、生徒のニーズに応え、地域に貢献できる人材を育てていきます。

## 商業科表彰

専門高等学校等御下賜記念  
優良卒業生表彰

3年F組 櫻庭 佑有

全国商業高等学校協会卒業生  
成績優秀者表彰

3年F組 星 柑奈

全国商業高等学校協会主催  
実務検定7種目1級合格者表彰

3年F組 星 柑奈

全国商業高等学校協会主催  
実務検定6種目1級合格者表彰

3年F組 櫻庭 佑有

全国商業高等学校協会主催  
実務検定5種目1級合格者表彰

3年F組 加藤 琉海

全国商業高等学校協会主催  
実務検定4種目1級合格者表彰

3年F組 佐井 柚月

全国商業高等学校協会主催  
実務検定3種目1級合格者表彰

3年F組 山室 玲美

全国商業高等学校協会主催  
実務検定2種目1級合格者表彰

3年F組 小林 吉宗

全国商業高等学校協会主催  
実務検定1種目1級合格者表彰

3年F組 米田 彩弥

## 同窓会クuras幹事

第七十七期卒業生

A組	川村 夏悠	D組	小野 吉宗
B組	中塚 原 來	F組	小林 吉宗
C組	漆 原 來		

## 研練褒賞

3年A組

平松 恵音

## 皆勤賞生徒

4名

A組 佐藤 大晴

B組 藤 麻央

C組 高根 陸斗

D組 凌 芽